



AJISU

1982

No.363

3/5

広報あじす 毎月5日 発行

お知らせ版 毎月20日 発行

山口県吉敷郡阿知須町

発行 阿知須町役場

電話 4111番(代) 754-12

印刷 よしの印刷株式会社



## 健康診査でみる身体や心の発育

### 関心うすい 歯への意識

金場では「うちの子のことばはどうでしょうか」「まだオムツがとれないんですが」などの質問や悩みなども聞かれます。これまでのデータからみると、お母さんは日常生活のしつけや食事は十分注意を払っておられるようですが、歯に対する関心はほしいようです。

(写真は健康診査を受ける一歳六ヶ月児)

(写真は健康診査を受ける一歳六ヶ月児)

町では母子保健法により、毎月一回第三火曜日に一歳六ヶ月児の健康診査を行っています。幼児初期の身体発育 精神発達を見るには、この時点での診査がいちばん容易で、これにより、運動機能等の発育状況をみて適切な指導が行われています。

この健康診査は昭和五十三年

から始められ、保健婦による問

診、言語・食事・生活習慣など

についての指導や歯科検診、身

体測定などを含めた内科検診な

ど行っています。

# 防ごう新入学児の交通事故

## 子どもの行動の特性を知ろう



△物事を単純にしか理解できず  
考え方も自己中心になりがち。  
自分が黄色い旗をあげれば、  
車は必ず止まってくれるもの  
と思い込みがちである。

**日常生活の中での具体的な指導を**

子どもの交通事故を防ぐには  
子どもの特性を理解することが  
必要で、指導もその点を考慮に入  
れなければならない。以上の点から

- ①実際の通学時間に合わせて、保護者と児童が実際にその通学路を何回か通つて、信号機、道路標識の見方、横断歩道の正しい渡り方を教える。
- ②寝る前に翌日の準備を済ませるよう習慣づける。また、登校時間に余裕をもたせ、忘れ物がないかどうか登校前に必ず点検するよう習慣づける。
- ③帰宅後、遊びについてよい範囲や帰宅時間などを、自宅からの距離や交通環境を考えて決め、

△道路にいきなり飛び出す子どもにハツとさせられることがよくあります。子どもは時として大人が想像もつかないような行動をとり、事故につながることも少なくありません。子どもを事故から守っていくためにはまず、次のような子どもの特性を十分理解しておきましょう。

△子どもは、一つのことについて向くと、周りのものは目に入らなくなる。

△もうすぐ新学期ですが、新学期は子どもの交通事故が毎年、ふえる時期です。特に、新入学児は行動範囲が広がり、自転車を利用し始めたりするので、これまで以上に十分な注意が必要です。

### 事故の多くは道路への飛び出し

△応用的な動作ができない。いつも通りの道では交通ルールは守れるが、知らない道では守れない。

△「あぶないよ」とか「注意しない」というよつた抽象的な言葉だけではよく理解できない

△大人や年上の子のまねをする。視点が大人より低い。駐車中の車などがある場合、大人には先を見とおせても、子どもには見えないことがある。

△具体的な行動を通じて理解させる必要がある。

△大人や年上の子のまねをする。視点が大人より低い。駐車中の車などがある場合、大人には先を見とおせても、子どもには見えないことがある。

△しっかりと守らせるよう教える。

△子どもに自転車を利用させる場合には、年齢、体力、能力などを考えて体に適した自転車を選ぶ。また、乗る場合は必ず点検をするよう習慣づける。

△自転車を安全に利用させるには、まず、空き地や公園など安全な場所で、安全な乗り方、特に正しい止まり方と交差点の安全な渡り方を十分に教えてから、徐々に道路になじませるようにする。また、道路環境や交通量を考慮して、自動車に乗つてもよい区域、時間などを指定して利用させる。決



▲朝の通学はみんなで



▲新入学児は横断歩道の渡り方のお勉強

**登校前はゆとりをもつて**

へお母さんへ

子どものいる家庭では、ふだんから交通ルールをよく教えるとともに、朝、学校に送り出すときは、つぎの点に十分気をつけましょう。

- ◎出かけるときにしからなります。
- ◎忘れものをさせない
- ◎通学時間にゆとりをもたせる
- 子どもは、しかられるところで頭がいっぱいになり
- 周囲の状況が目に入らない

一方、車を運転する人は、こうした子どもの行動特性を十分理解して、子どもを見たら「赤信号」と思い、細心の注意を払いましょう。

## 乱れていないか ごみの持ち出し

### いま一度 各家庭で見直そう！



▲スプレー等は穴をあけて

円、紙袋は一枚二十五円。

。

このようなことが守られれば  
良いわけですが、最近またごみ  
の持ち出しが乱れてきているよ  
うです。例えば可燃物と一緒に  
へアスプレー等を混入すると  
焼却のとき爆発する恐れがあり  
ます。先日も焼却炉で爆発し係  
員がもつ少しで負傷するところ  
でした。このようなことがない  
よう、可燃物と不燃物は必ず分  
けて出しましょう。

また、海へごみを投げ捨てる  
人もあとを絶たないようです。

こうした人は

“心が汚れている  
人”といえましょう。目先のごみ  
がなくなつても心にごみが残ら  
ないよう、みんながごみ処理の  
ルールを守つて美しい町を育  
てていきましょう。



▲不燃物・可燃物は分けて持ち出そう

家から出るごみを正しく処理  
することは、わたしたちが生活  
していく上で守らなければなら  
ない最低のルールです。各自が  
ごみを勝手に持ち出したのでは  
社会生活そのものが崩れてしま  
います。

そこで、いま一度ごみの出し  
方等について考えてみましょう。  
現在、本町には阿知須町環境  
衛生組合連合会（酒迎道義会長）  
があり、清潔で美しい町づくり  
を目指しています。昨年四月、  
町環衛連が各家庭に配布した  
ごみの持ち出しについてのパン  
フレットによるとつぎのとお  
りになっていています。

▽可燃物の持ち出しについては、  
計画的かつ能率的に収集する  
ために、各地区ごとに持ち出  
し日を決めている。

可燃物としては残葉・紙・布  
ビニール類その他焼却に適す  
るもののはすべて。多量の紙・  
布類はよくしばって、そのま

ま持ち出すこと。

▽不燃物の持ち出しについては  
第一・三水曜日（鴨生原地区  
は第一・三木曜日）がビン・  
ガラス・陶磁器類。第二・四  
水曜日（鴨生原地区は第二・  
四木曜日）がカン・金属類で  
す。

▽冷蔵庫・テレビ・洗濯機・ト  
タン・ブリキ類その他粗大ご  
みについては直接岡山焼却場  
へ。

▽建築廃材・庭木のつみくず・  
雑草については自家処理を。

▽レンガ・カワラ・土砂につい  
ては町が決めた処分地に持  
ち出しのこと。

▽ごみ袋は町指定のものを使用  
のこと。他のビニール袋・肥  
料用ビニール袋・買物の包装  
紙・ダンボール箱等で持ち出  
した場合、または残飯類を入  
れた袋にビンやカンを混入し  
ている場合は収集しない。町  
指定のビニール袋は一枚二十

### これで安心 焼却場

一月下旬から再び使用されてい  
ます。ヒビ割れがきていた町のご  
み焼却場の煙突の修理が終り、  
施工業者は橋本築炉株式会社

（宇部市）で工事費は七百五十  
万円でした。

この煙突は鉄筋コンクリー  
ト造り。高さ二十五メートル。

焼却場の能力は一日五トンで  
す。



▲改修された焼却場の煙突

回数	年月日	取扱センター	供給記録欄	
			本数	取扱機関
1	55.8.2	山口県		
2	56.1.20	山口県		
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

▲供給記録欄は備考欄に

## 生鮮食品の管理についてのアンケート

## 町消費者リーダー養成講座受講生が発表

▲店内には生鮮食品がいっぱい

## 活発な意見交換

て、消費者リーダーと町商工会議所役員・事務局・商店代表者、県消費生活センター、山口保健所、県計量センターの代表者ら約十人が意見交換をしました。

ばかりの取扱を正確にしてほしいなどの問題が出ました。一方、商店側からは消費者自身が商品価格やマージンをつり上げさせているよつた実態も発表されました。

におさめた。店は黙つてそれを捨てなければならぬ。その二一キヤラメル類のおまけだけを取る子どももいる。おまけのないキヤラメルは売れなくなる。まるまる一個盗まれたのと同じ。

その三一書店で本を買うとき大きい本の下に小さい本を重ねて出して、大きい本の代金だけしか払わない人。買いたい本に他の本の付録をはさんでおいて一冊分だけの代金を払おうとする

その四一 冷凍食品を買い、自動車に乗せたまま夕方とり出し「腐っていた」といて店に文句をいう客もある。本当は店の責任でもないのに取替えなければならない。

これらはいすれも、商店の経費増大につながり、結局は、価格にはね返ってくることになるわけです。

阿知須町消費者リーダー養成講座の受講生はこのほど、生鮮食品の管理についてのアンケート調査の結果をまとめ、県消費生活センターと阿知須町が主催した移動消費生活センターの地域懇談会の席上発表しました。

この調査は去年の九月に町内の主婦三百五十人を対象に行つたもので、回収率は九八・三%でした。回答者の年齢は二〇～二九歳、三〇～三九歳、四〇～四九歳、五〇～五九歳、六〇歳以上でした。回答を項目別にみると次のとおりです。（問一・二は重複回答）

☆問一：食料品はおもにどこで買われますか  
町内スーパー　六八・九%  
町内小売店　四一・七%

町外	無記入	○・六%
☆問一二：その理由はなぜですか	近いから	五九・三%
	新しいから	三〇・八%
	安いから	一二・八%
	その他	一一・〇%
☆問三：食料品の製造年月日の表示について	無記入	○・三%
(1) 製造年月日を見て買われます	かい	はい いいえ 無記入
	九六・六%	一・七% 一・七%
(2) 次の食料品を買われたとき製造年月日の表示がありましたか	○卵	はい いいえ 無記入
	八七・五%	六・七% 五・八% 一二・八%
	三・五%	三・五% 一一・七%
☆問四：おもに何で買われます	はい いいえ 無記入	○

○納豆	はい	三〇・八%
いいえ	いいえ	四九・四%
無記入	一〇・八%	一九・八%
いいえ	いいえ	八一・一%
無記入	八・一%	七・〇%
いいえ	八七・八%	五・二%
無記入	五・二%	四四・四
いいえ	四四・四	問四：食料品は適正な場所に直してありましたか
はい	はい	はい
いいえ	いいえ	いいえ
無記入	九一・三%	七・三%
いいえ	一・四%	「いいえ」と答えた人に質問
こんな食料品でしたか		位豆腐、二位牛乳、三位ね
製品、四位野菜、五位卵		位豆腐、二位牛乳、三位ね
問五：店内に手を洗う設備が		位豆腐、二位牛乳、三位ね
ありましたか		位豆腐、二位牛乳、三位ね
はい		位豆腐、二位牛乳、三位ね
いいえ		位豆腐、二位牛乳、三位ね
無記入		位豆腐、二位牛乳、三位ね

☆問七：量目と値段が正確ですか	はい	三七・五%
	いいえ	一二・五%
無記入		五〇・〇%
☆問八：腐敗品を買つてしまつたことがありますか		
ある	六六・九%	
ない	三一・七%	
無記入	一・四%	
(1)何が腐敗していましたか		
一位豆腐、二位うどん、三位 ねり製品、四位パン、五位油 揚		
(2)腐敗品を返品、交換したこと がありますか		
ある	四三・二%	
ない	四三・五%	
無記入	一三・三%	
い店の人気が持よく交換してく れましたか		
はい	六一・九%	
いいえ	四・六%	

等の声が出て います。二・三 举げて みますと  
○ 製造年月日について：「すべての 食品、特に生鮮食品には製  
造年月日を入れてほしい」 「製  
造年月日の古いものは、店の方  
で自発的に調べ新しいものと取  
り換えてほしい」  
○ 食品の鮮度とパック包装につ  
いて：「野菜はパツク詰めでな  
い方がよい。むやみに使われる  
と捨て場に困る。」  
○ 設備について：「日頃から食  
料品を買つ時は、よく見て悪い  
ものは買わないようにしている  
のですが、いつも新しい物をお  
くように気を付けてほしい。」  
○ 応対について：「気持ちの良  
い応対をしてもらいたい。」  
○ その他：「意見箱を作つてほ  
しい。苦情ばかりではなく、何か良  
い話なども記入できるとサービ  
ス向上になるのではないかろうう」

1982年3月10日  
(製造年月日)

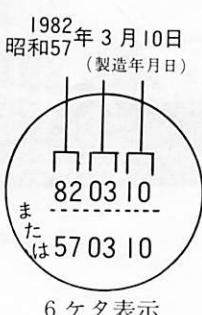
820310

570310

☆問六：量目を家でたしかめな  
ことがありますか

無記入 三三・五%

ご存知ですか





## 栄養推進員ペンリレー⑪

## 野菜の摂取を多く

私たち幸運の第一条件に健康を上げています。その健康は自分だけでなく回りの人、特に家族をも幸福にします。

しかし、自動車の普及、作業の機械化による運動不足、あるいは食品の不適正な摂取、テレビなどによる睡眠不足など豊さの中から不健康が作り出されています。そして健康を保つために食生活が大切な役割をしています。

余る食品の不適正な摂取、テレビなどの残飯の中でも多いのが千切りキャベツだそうですが、お刺身のけんや揚げ物などのレタス、千切りキャベツなどを伸ばしてきました。自分の健康は自分の手で、そして家族みんなを幸せにしたい

いうのは運動量の多い人にはそれでもすみますが一般の人には塩分の取り過ぎになってしまいます。最近は野菜の消費もだいぶ伸びてきましたが、レストランなどの残飯の中でも多いのが千切りキャベツだそうです。お刺身のけんや揚げ物などを束ねて見たいものです。

## 匿名さんに感謝状

## 町社会福祉協議会

町社会福祉協議会では二月二十日、毎月善意の寄付をしておられる“匿名さん”に感謝状を贈りました。

これは、昭和四十八年十月以来のことしの一月分で百回目になりました。封筒の消印は宇都宮市西本町。

感謝状の全文はつきのとおり

あなたは多年に亘り地域社会福祉事業発展のため、毎月千円の寄付をなされました。井関小学校はことしはじめての応募です。全校児童三百十八人の

井関小学校では、このほど昭和五十六年度よい歯の学校表彰審査会から「山口県よい歯の学校」として県知事賞を受けました。

（浜・松井 千歳）

## 井関小が県知事表彰「山口県よい歯の学校」でも表彰

## 「全日本よい歯の学校」でも表彰

これは、①本年度歯科保健状況②本年度う歯予防状況③前年度学校保健活動状況を審査の対象とし、今年度の応募数は小学校百十一校、中学校五十一校でした。

井関小はことしはじめての応募です。全校児童三百十八人の

井関小学校は、このほど昭和五十六年度よい歯の学校表彰審査会から「山口県よい歯の学校」として県知事賞を受けました。

また、同時に行われた「全日本よい歯の学校」でも表彰されました。

井関小学校は、このほど昭和五十六年度よい歯の学校表彰審査会から「山口県よい歯の学校」として県知事賞を受けました。

## 表彰状

阿智町井関小学校

貴校は昭和五十六年度山口県よい歯の学校審査会において優秀であると認められました。

よってこゝに表彰します

昭和五六年十二月三日

山口県知事平井 龍



▲歯の処置完了率100%をめざして……

13日	11日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	
卒業式予行	体重測定(一・二・三年)	入学式	お別れ式	入学式	修了式	修了式	卒業式											
卒業式	入学式	修了式	入学式	修了式	修了式	修了式	卒業式											
井関小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小	阿知須小

## ことしの卒業者数

阿知須中学校  
阿知須小学校  
井関小学校

八八八人  
八五五人  
二八八人

ことしの町内の小・中学校卒業者数はつぎのとおり。

初菜洗ふ潮はすでに引潮かちぎ  
れし菜の葉はなき離れつづ  
いる冬の陽だまりに娘は黙しつ  
つ

松尾 君代  
正司ウメノ

機関区の湯気ふかれ来る店先に  
レジスターべ一人しめをり  
港内を飛びおり鷗ら集まりて  
間を置きて屋根より雪の落つる

## 短歌

長谷川さつき

音聞きつつ一人寒餅を切る  
松代 一郎

中洲に憩ふ昼の陽の中  
平海アサノ

雪どけの氷柱をつたう軒下に所  
在なく黒き干柿の垂る  
渡辺 宮子

明治の吾は目をみはり見る  
三吉 琴

春浅き朝華やかに装ひて姪は嫁  
中本 幸枝

射し坦々と遠く人ひとりなし  
木原百合雄

その苦勞語らねど面影の残りい  
て耐へし苦勞を銀髪に見し  
桜井 文子

鍵かけて去らむとすれば消し忘  
れし尾灯に雨のにぶく光れり  
藤重アヤ子

## はりきってます グレープ紹介

### 町青年団 ぶどうの実



「ふれあい広場」はみなさんのページです。  
町政への提言や身近かな話題、絵画・写真など町企画室（有線二二四二）へお寄せください。

私たち日頃、多種多様な行事に取り組んでおります。しかし、けつして、それらの行事は私たちが本来望むものではなく、あくまでもたくさんの仲間が集つて語った結果が行事に結びつくのです。

それでは、私たちの目的としているのは何かと申しますといわゆる仲間づくり、地域社会とのコミュニケーションを図ること。これが大儀名分になるでしょう。まあ、そいつたむつかしいことは余り考えず、ただ単に、たくさんの若い仲間を作り、手をとりあって、これから阿知須町を考え、足元をみようじゃないかということです。

と、同時に世代の異なる年の離れた友をたくさんもつことによ

り、いろいろな知識を吸収し、悩みを解消し、若人としてできる事を実践してゆくことがあります。

町内在住の若者諸君、もし、私たちの目的に賛同できるものなら、ぜひ仲間に加ってみませ



### 劇団公演に感心しきり

#### 阿知須小の児童

阿知須小学校の児童は2月25日“劇団2月”公演の「でぶっちょうライオン」を観劇しました。阿知須小学校では毎年1回児童に演劇を見せようと行っているもので、公演は講堂を利用して行われ、会場せましと跳んだりはねたりする演技に児童は感心して見入っていました。



▲演技に見入る児童

### 「たいじゅうそくてい」

#### 阿知須幼稚園 にしむら なおひろ(6歳)



## 町内柔剣道大会の結果



◆豆剣士は実力どおり



### 入園前に身体検査

四月から砂郷・岩倉の両保育園に入園する児童の身体検査がこのほど行われました。当日は、お母さんと一緒に来

園、身長・体重など検査を受けましたが、もうすぐ保育園といふことでみんなはしゃいでいました。（写真は検査を受ける子ども）

### 「お姫さま松」周辺を清掃 引野地区で

区域内にあるお墓をきれいにしよう……と引野区の人々は二月十四日、明栄寺前方の山林内にある墓地を清掃しました。

同地区は五十三世帯。この日は糸野明良区長ら四十五人が参加し、半日かけて約三千五百平方メートルの墓地をきれいにしました。

この墓地には「お姫さま松」もあり、その周辺には雑木や枯葉に埋った墓石が点在しており、草木や土を除いたりして、無縁仏も日が昇るようになります。

▶女子も参加

▼女子：①松井千春②河合美紀  
③上重早知子

▼男子（一年）：①松井敏行②中本雄一③中野修三郎

▼男子（二年）：①上田中靖②田中洋③山崎和磨

▼男子（三年）：①松井厚志②藤沢英司③綿田浩一郎

▼男子（四年）：①中野新作②浜西洋次郎③明徳親典

▼男子（五年）：①本永勇②西中博③中本明男

▼男子（六年）：①繩田幸治②原川弘章③山田幸司

◆柔道◆  
▼女子：①西村恵②鈴川博子③西村和江

▼男子（一・二年）：①原田博正②江本真治③中野鉢一

▼男子（三・四年）：①菅文章②金田貴之③原田剛

▼男子（五・六年）：①部坂信夫②松本正③西村正

町内初の消費者グループ  
阿知須町消費生活研究会の世話人  
山根傳美子さん

—引野区—



このほど、町内初の消費者グループとして誕生した「阿知須町消費生活研究会」の代表世話を人に選ばれた。その理由は「今まで県の消費生活モニターなどしてきただので、これからも県との連絡役をしよう」ということです。つまり連絡員ですよ。

この研究会発足のいきさつは、「本年度行われた移動消費生活センターにひっかけてリーダー研修というのをやつたんです。そこで最終的にいろいろ

の問題が出てきて、リーダー研修を受けた人たちが『これからも自分たちの暮らしに関係あることを勉強していくやうやあ』ということがキッカケになつたんで下さいね。

会の方向については「商品についてのみません知っているようでも以外と知らないことが多いので、少しでも安全なものを消



—

現在のメンバーは十一人ですが、「グループに入つて勉強したい人はどなたでもどうぞ」と只今会員を募集中。山根さんはブラジルに六年間移住、昭和四十三年十二月に帰国。その後、県の消費生活モニター、くらしの相談員、県女性問題対策審議会委員などをつとめてきた。

「それで、今、私が非常にうれしいことは若い人が積極的なんですね。これは本当に若い人を中心にして、若い人を中心にして、いいですね」とつれそんでもう少しうれしいことは若い人が積極的なんですね。これは本当に若い人を中心にして、いいですね」とつれそんでもう少し自分たちの暮らしに関係あることを勉強していくやうやあ」ということがキッカケになつたんで下さいね。

今、一番感じていることは、「うことを話し合つていこうといふことですね。また、近々機関紙も出す予定なんですよ」。今、一番感じていることは、「うことを話し合つていこうといふことですね。また、近々機関紙も出す予定なんですよ」。

費用のみなさんの台所に、といふことを話し合つていこうといふことですね。また、近々機関紙も出す予定なんですよ」。

今、一番感じていることは、「うことを話し合つていこうといふことですね。また、近々機関紙も出す予定なんですよ」。

